

令和6年度からの教科用図書の採択について

山形大学附属小学校

採択教科書

【国語】東京書籍

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 育成したい資質・能力を単元ごとに「言葉の力」として明示し、6年間の系統も具体的に示すことで、児童が確実に力を付けることができるように工夫されている。
- 単元の扉には QR コードが配置され、既習でどのような力を身に付けたのかを確認できるので、この単元でのこれまでの学びの上に何を積み上げていくのかという学習の見通しをもつことができる。また、そのような見通しをもって学ぶことで、目的意識をもつことができ、学習後にも児童がこの単元でどのような汎用的な力を身につけたのかを理解することができる。
- 児童の学習意欲を高めるために、挿絵や写真、図を効果的に配置するなど、レイアウトが工夫されている。特に、「読むこと」教材における扉の大きな写真が単元導入に効果的である。
- 児童が本を手に取り、豊かな読書体験をすることができるように、ブックトークや読書マップ作り活動、本の一部の掲載、著名人の読書体験、エッセーの紹介等、学年に応じて適切に配列されている。
- 読むことの教材で二つの文章を比較しながら、目的に合わせた書き方の違いに気づくことができるように構成されている。
- 低学年での言葉に関する情報量が多く、単元の中で活用しやすいつくりになっている。
- 教材や単元の中で身につけたい力が、初めに整理された形でまとめられている。
- デジタルコンテンツの有用性が高い。特に、「話す・聞く」分野の映像などのデジタル教材が示され、具体的なイメージをもって学習に生かすことができるようになっている。さらに、単元末に補足情報としてあるだけでなく、既習の内容を再確認できるように単元初めに資料が付いている。
- 児童の興味関心への寄り添いが強く、情報が豊富である。読書単元では見開きページで本棚のように本の紹介があったり、研究者や声優などの著名人の読書体験が掲載されていたりする。また、児童が必要とする情報にすぐアクセスすることができるよう教科書の至る所にQRコードが添付されている。
- 各教材文の後にある単元の学びのてびきページにキャラクターとともに示された「ポイント」を活用したり、映像やデジタルノート、資料、練習問題などの多様なデジタル教材を活用したりすることによって、家庭学習へ生かすことができるようになっている。

採択教科書

【書写】東京書籍

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 学習のゴールを「読む人に伝わる字」「自分の字が好きになる」と設定し、日常場面や他教科とのつながりを提示しており、カリキュラム・マネジメントすることにより、相手意識や目的意識をもって学習することができる。
- 点画の長さ、間隔、外形、文字の大きさといった字形を整えて書くためのコツが「書写のかぎ」として整理されていて、教師も児童も課題を見つけ、練習して確かめるといった、問題解決学習をおこなうことができる。そして、自分の字の上達を実感しやすい。
- 左手でもった写真の掲載、書き込み欄の配置の工夫など、左利きにも十分に配慮された誌面構成である。
- 硬筆学習の際、教科書に書き込むスペースが充実しており、ワークシートが準備されている。
- ナレーション付きの運筆動画やアニメーションによる「書写のかぎ」の説明など、QRコンテンツが充実しており、児童が視覚的にコツを理解することができる。
- 低学年用の紙面が、書き込み欄が充実している。また、オノマトペを用いた「とめ、はね、はらい」の記載がシンプルでわかりやすい。

採択教科書

【社会】東京書籍

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 単元構成が「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階で構成され、社会科の問題解決的な学習を効果的に進めていくことができるようになっている。
- 「いかす」段階では、自分なりに「選択・判断」ができる学習場面が位置づけられ、単元全体を振り返り考えることができるようなページ構成になっている。
- 5年「米づくりのさかんな地域」では、庄内平野が取り上げられており、本県の農業について考えることができる。また、他社と比べ、県内資料が豊富にある。
- 各見開きに「まなびのポイント」が例示されており、どのような学びをするか、どう考えていけばいいかのヒントとなる。また、各ページに「ことば」があり、単元を学習する上で大切な社会科用語について解説されている。
- 学習を「まとめる」段階において、これまでの学習を整理し考察できるよう、様々な表現活動が示されている。例えば、表、地図、相関図、キャッチコピー、新聞等である。多様なまとめ方を経験することは、総合等の学習にも生かされる可能性がある。
- 授業で活用できる資料の種類や数などの情報量が豊富である。
- QRコードから、単元導入で使える動画やワークシート(書き込み可)にアクセスできる。

採択教科書

【地図】帝国書院

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 「3年生の学習」「広く見わたす地図」「国土」と、3年生からの学習内容に合わせて段階的な配列になっている。
- 各学年に関わるページがトピック的に地図内に入り込んでいたり、見開きに構成されていたりする。（5年輪中、自動車、6年参勤交代等）
- 各ページに「トライ!」「地図マスターへの道」が示されており、地図を読む力を高める工夫となっている。児童が興味をもって学習をすすめることができる。
- 地図学習の導入として、「3年生の学習」「地図帳の使い方」「広く見わたす地図」のページを24ページにわたり記載。特に、写真と地図を見比べる活動を通して、地図が土地の様子をわかりやすく表したものであることをつかむことができる。
- 各ページにQRコードがあり、タブレットを用いた学習ともリンクできる。
- 各ページにQRコードがあり、地形、土地利用、交通等の情報をピックアップした地図にアクセスできる。また、地図や地球儀の使い方動画、資料のページなどが豊富である。

採択教科書

【算数】教育出版

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

導入の場面設定が、児童が考えてみたくなるようなものになっており、そこから「どうしてだろう」「おもしろそうだな」という思いを膨らませることができる。そして、その単元で働かせたい見方・考え方につながりやすい導入となっている。また、吹き出しの内容が、児童の素直な反応に近く、そこから数学的な思考につなげるきっかけとなりやすいと考えられる。さらに、他の考えも認めながら進めていける自由度があり、児童一人一人の思考に寄り添って学習を進めていくことにも期待できる。

また、単元内で出てくる「つながるミカタ」では、単元や領域を超えて共通する見方ができるようにしている。また、単元の終末では、振り返りの内容が示され、学び方、数学的な見方・考え方、知識・技能という観点で学びを確かにする工夫がされている。

総じて、問題解決の過程の中に、大切な見方・考え方が整理され、学びの連続性が感じられる。その紙面構成が児童にとっても教師にとっても算数における問題解決を進めるモデルを示している。

採択教科書

【理科】大日本図書

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 見方・考え方を働かせる学び方が、教科書の発展ページの中に盛り込まれている。例えば、3年生のエネルギーの領域では、ゴムの伸びる長さを変えてエネルギーの大きさを考える学習をした上で、目に見えない風（空気）のもつエネルギーについて考えていくことができる。5年生の粒子の分野の学習（ものの溶け方）では、ものは目に見えなくてもそこに存在していることをイメージ図で表している。
- 各学年で科学的に問題解決を進めるために大事にしたい4年生の関係付けや、5年生の条件制御など、見方・考え方についてもわかりやすく取り入れられている。
- 中学校の学習に関連している「サイエンスワールド」があり、今学んでいることが、中学校の学びにどうつながっているかがわかりやすい。
- 実験計画のページの子どもの吹き出しや、巻末に掲載されている理科のノートの書き方を見ると、実験・観察の前に結果の見通しを立てることを大切にしている。
- 結果を表にまとめるだけでなく、グラフに分布図で表している。それより、共通点や相違点を視覚的に捉えやすくなり、児童が結果から言えることは何かについてはっきりさせやすくなっている。
- 山形県内の資料が数多く掲載されている。川の流れるはたらきや植物の季節ごとの変化など、山形県の写真が多く、児童が身近に感じることができる。

採択教科書

【生活】光村図書

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 「こんなことあるかもね」コーナーは、「失敗しても、人と違って、教科書どおりにいかななくてもいい」という内容になっている。そのため、一人一人が安心して自分らしい学びを進めることができると同時に、その内容に疑問を感じるなど自分の考えを広げるきっかけになる。
- 「学び方のヒント」が全ての小単元で設定されており、つまづいた時や試行錯誤する時に大切となる考え方や活動が示され、それらが生活科の見方・考え方につながる観点で精選されている。そのため、児童が自分で考え、試行錯誤することができ、一人一人が自分なりの生活科らしい学びを実現することができる。
- 児童が自分の思いや願いに合わせて、必要な情報を調べようとした時に、教科書から十分な情報を得ることはあまり期待できないが、自分でさらに調べたり相談したりして足りない情報を得ようとする主体的で対話的な姿が期待できる。
- 生き物図鑑「きせつの なかまたち」は、切り離して使うことができ、水や泥に強い加工が施してある。野外に持ち出して活用することができるため、本物に直接触れる活動の中でも大いに役立つ。
- 「ふりかえろう」がすべての小単元に設定されており、活動中の出来事を「感情」、「思考・態度」の両方の面から振り返ることができるように工夫されている。そのため、出来事の羅列や単なる感想にとどまらない振り返りをもとに、児童が成長を実感していくことができる。
- 本校の生活科で大切にしている児童の姿が教科書の中に表されている。保護者もこの教科書を読み、目指す児童の姿に触れることで、学校と家庭が同じ方向を向いて児童の育ちを支えていくことができる。

採択教科書

【音楽】教育出版

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 構成や配列、学習活動が、シンプルで、児童の思考に沿った流れになっているため、多様な表現を試しながら、主体的に問題解決を進めることができる。教材曲の選曲が魅力的で、音楽の感性を育むことができると思う。
- 巻頭に掲載されている「学習マップ」が簡潔で、児童が、1年間の学習の見通しをもって進めることができるよう構成されている。
- 世界の音楽や日本の音楽の内容のページ構成がわかりやすく、充実しており、自分の地域の文化と比較しながら、多様な文化に触れることができる。
- 表現と鑑賞、音楽づくりの組み合わせに無理がなく、それぞれの領域の学びを自然に生かすことができる題材構成、題材配列になっている。
- 6年間の題材の系統が明確になっており、6年間の学びのつながりを大切にしている。
- 常時活動として取り組むことで、遊びながら技能の基礎を身に付けることができる学習活動が取り入れられている。
- 児童が、必要に応じてリコーダーの運指を確認したり、学習活動を深めるために役立てたりすることができる解説動画や音源のコンテンツが充実した学びリンクが取り入れられている。
- 写真、イラスト、図形楽譜等、音を「見える化」している工夫が豊かで、音楽の特徴を捉えやすい。また、発達段階に応じたものになっている。
- 学習に必要な〔共通事項〕が「音楽のもと」として示されており、児童が、視点をもって学びを深めることができるようになっている。
- 巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」が示されており、「学び合う音楽」において、音楽の表現や協働的な学びが進むよう配慮されている。

採択教科書

【図画工作】日本文教出版

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 児童の学ぶ意欲を引き出す紙面（活動する児童の様子・作品）になっている。真剣に試行錯誤する姿、友達と協働する姿は、単に作品をつくることだけでなく、自分のイメージをもちながら、楽しく取り組んでいこうとする学びの大切さを感じさせる。また、掲載されている多様な作品群は、「わたしだったらこうしたい」という、ワクワク感を生み、創造して活動する楽しさを感じさせる。
- 完成された作品だけでなく、児童が活動している様子も多数掲載されており、材料や用具の使い方の工夫や視点を変えて見ることなど、活動に向かうヒントが散りばめられている。
- 児童にとって有用なQRコンテンツが充実している。身近なものの色や形に焦点を当てた画像や国内・諸外国の美術作品を鑑賞できるようになっており、児童がイメージを広げたり、対話しながら見方・考え方を広げたりするのに役立つ内容になっている。また、用具や材料の使い方なども含まれており、児童が必要な時に必要な内容を選んで視聴するなど、自己決定や個別最適な学びの際のツールになり得る。
- 図画工作の学びを他教科や家庭、地域との関連から捉えることで、自他のくらしを楽しく明るくさせるアイデアやオリジナリティのよさを考えることができる。また、幼小接続や中学校とのつながりなどにも触れ、児童の学びの連続性や生涯にわたる造形活動のおもしろさを伝えている。

採択教科書

【家庭】開隆堂

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 授業の流れを3ステップで展開している。タグがシンプルに明記されていることで、児童は学習の進め方を身につけられる。さらに、問題解決的な学習を繰り返し行うことができる。自らの生活を見つめ、発見した課題を深めていくための学習展開が期待できる。
- 各単元最後の「生活に生かそう」で、新たな課題を見つけ、学びを生かしたり深めたりできるように構成されている。体験や実践を通してできることを増やした結果、それらによりよい家庭生活につなぐことができる内容構成となっている。
- 衣食住全てにおいて伝統文化の具体例を提示しているページが充実しており、郷土のよさを考えるきっかけになるように工夫されている。
- 「各地に伝わるみそやみそ料理」の中で、山形県の代表的な料理として、「どんがら汁」を取り上げている。
- キャリア教育との関連が充実している。さまざまなキャリアをもった 21 人の方が紙面に登場し、児童に向けたメッセージを掲載している。これらは、仕事のやりがいを知るだけでなく、わたしたちの生活がいろいろな仕事によって支えられていることに気付くことができる。また、キャリアがこれからの社会を持続可能なものとして「つなぐ」効果がある。
- 中学校の学習概要のページが設けられおり、小学校の学習とのつながりが見える。5年間の見通しを持つことで、学びの必要性を見出し、意欲的に取り組むことができる。

採択教科書

【保健】大修館書店

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- ページの構成が問題解決の形になっており、全ての単元で「課題をつかむ」「調べる」「話し合う」「振り返る」などの学習展開で進んでいる。本校の研究テーマとも関連している。また、学習の導入が、イラストや写真を見て問題点を探す活動が必ず入っていることで、課題を見つけ出す力も育まれることが期待される。
- 写真やイラスト、グラフなどの資料がバランス良く使用されており、文章量や構成も適切である。ページ数も他社と比べ適当である。
- 基礎的な内容に加え、発展的内容が多めに記載されている。AED の使い方や心肺蘇生法まで、詳しく紹介されている。学習意欲の高い本校の子どもたちに合っていると考える。
- ページの下に指導内容と関係している教科や領域等が示されており、他教科との関連を意識させやすい構成になっている。また、心の健康の学習では、色々な相談窓口の電話番号が記載されているため、学習内容を生活の中の具体的な場面で活用しようとする視点をもたせやすく、外部機関との連携が取りやすい。
- 保健の課題として、生活や他教科との関連が重要視されている。最初のページから、実際に起きた事件や事故について、新聞やネットニュースなどで、内容の関連を図っている。
- 「ケガの防止」の単元では、事故やケガの起きやすい部分を資料から見付ける学習がある。その際の資料は、①校内②校外の2枚を比較しながら見付けることが望ましい。資料が並べられて提示されていて、見付けやすい。注意書きもあり理解しやすい。
- 「感染症の予防」の単元では、発展的な内容が、充実している。ウイルスにかかると体のどの部分にどのような症状が起きるのか等、丁寧に書かれており、児童の学習内容を理解することができる。
- 発展内容で取り扱われている内容が、体の成長や心の変化の多様性に関わるような内容を取り扱うなど、これからの社会で必要な知識を掲載している。

採択教科書

【外国語】東京書籍

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 教科書の内容や構成が、児童の興味・関心をもとに学習を進めることができるように工夫されており、実態に合わせてアレンジしやすいものとなっている。
- 本校の研究主題である「自ら問題解決を進める子ども」を育てる上で、教科書や『My Picture Dictionary』の内容が、学びのサポートになることが期待できる。
- 中学校への接続を考えたとき、「文字のもつ音」の感覚を育てるという点で、「Sounds and Letters」のページの内容がとても充実している。
- グローバル社会の中で、多様な文化を認めたり受け入れたりすることができる児童を育てるために、様々な国の文化にふれ、自分の世界を広げていくことができるような内容・構成になっている。
- 「Let's Watch」「Let's Listen」ではインプット、「Let's Try」ではアウトプットと、自然な言語習得の流れで、ねらいとする表現や語句を身に付けられるように工夫されている。
- 教科書に掲載されたQRコードから『My Picture Dictionary』に容易にアクセスすることができる。文字の確認にとどまらず音声を聞くこともできるため、文字と音声を一致させながら児童が主体的に学習を進められるように工夫されている。また、家庭学習でも活用できるため、児童が自ら問題解決を進めることができると考える。
- 環境問題や食料問題、世界遺産などが取り上げられており、他教科と関連付けた指導ができる。
- 各Unitの言語活動例が「Enjoy communication」のページに示されているため、児童が学習の見通しをもつことができる。

採択教科書

【特別の教科道徳】学研

選定理由（内容の構成や配列、学習活動と指導等）

- 教材文の始め（タイトルの下）に、「〇〇について考えよう」「△△ってどういうことかな」といった主題をあえて載せていないため、先入観や固定概念をもたずに、児童が自分の経験と照らし合わせて主体的に考えられるようにしている。また、タイトルの下に、児童が意欲的に読み、考えたいくなるキーフレーズを入れている。教材の要約や価値項目へのヒントではなく、「わざとじゃないよ。」「誰も気づいていないようです」のように、授業の導入などに活用し、教材へのスムーズな導入や教材への関心をかきたてる投げかけとなっている。
- 「いのち」「多様性」「キャリア教育」「情報モラル」「いじめ防止」など、現代的な課題を自分事として考えられるような豊富なテーマがユニットとして組まれている。特に、「生命の尊さ」の価値項目を重要視しており、「いじめ」と「多様性」を関連させながら、道徳的心情を育むことができるようになっている。これは、他者とともによりよく生きることを重点とした本校の研究につながる。
- 編集の基本方針として「プラス思考」と「未来志向」を掲げている。それは、「いのちユニット」「多様性ユニット」「キャリアユニット」に特に反映されており、ユニットの学びを通して、前向きな気持ちになれたり、これからの自分の生き方について希望をもったりすることにつながる。
- 『ふかめよう』では、教材から、より自分たちのくらしにつなげて考えることができるような展開が掲載されており、参考にして授業することができる。また、『心のパスポート』では、追加資料が掲載されていたり、違った見方からの情報が取り入れられていたり、一つの価値項目について様々な事象から多面的・多角的に考えを深めることができるようになっている。
- 全ての学年の最初のページに、「道徳の学習とは何か」が書かれたページがある。その中で、「自分のとびら」「社会のとびら」「人のとびら」「命や自然のとびら」の4項目を学習する意味を、児童にわかる言葉で書かれている。児童にとって、道徳を学習する意味が明確になっており、わかりやすい。
- それぞれの教材に、厳選された発問が2つ掲載されており、一つの問いについて児童がじっくりと考えを深めたり、広げたりすることができる。
- 情報化社会を生きるために必要な能力を身に付け、活用するために、1年生では掲示板の落書き、3年生はパソコンの使い方、4年生は、個人情報やプライバシー、5年生はスマートフォンやタブレットにおける情報モラルなど、発達段階や成長に合わせた教材をバランスよく、系統的に取り入れている。